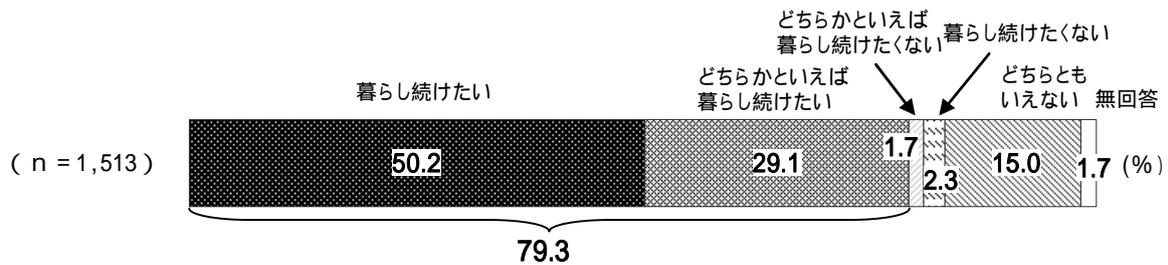


4 .【高齢者が地域で暮らし続けるための施策について】

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けたいか否か

問16 あなたは、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けたいですか。(1 は1つ)

< 図表 16 - 1 > 住み慣れた地域で暮らし続けたいか否か



介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けたいかを聞いたところ、「暮らし続けたい」(50.2%)と「どちらかといえば暮らし続けたい」(29.1%)を合わせた『暮らし続けたい』(79.3%)が約8割となっている。(図表16-1)

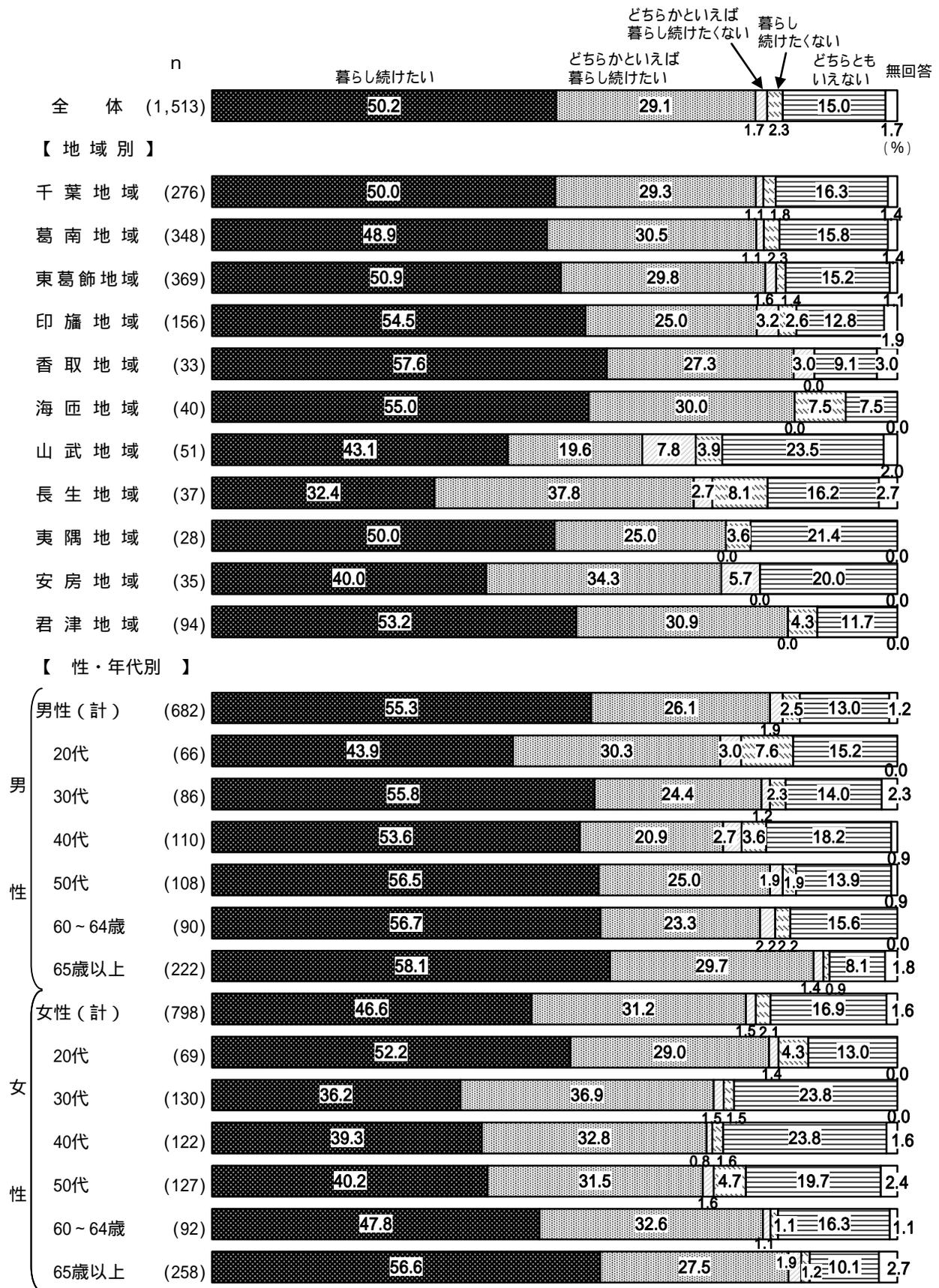
【地域別】

地域別にみても、『暮らし続けたい』は“山武地域”(62.7%)を除いた全ての地域で、7割以上となっている。特に“海匠地域”(85.0%)、“香取地域”(84.9%)、“君津地域”(84.1%)が8割台半ばと他の地域に比べ多くなっている。(図表16-2)

【性・年代別】

性・年代別にみても、『暮らし続けたい』はどの性・年代でも7割以上となっている。特に、男性65歳以上(87.8%)は、約9割と他の性・年代に比べ多くなっている。(図表16-2)

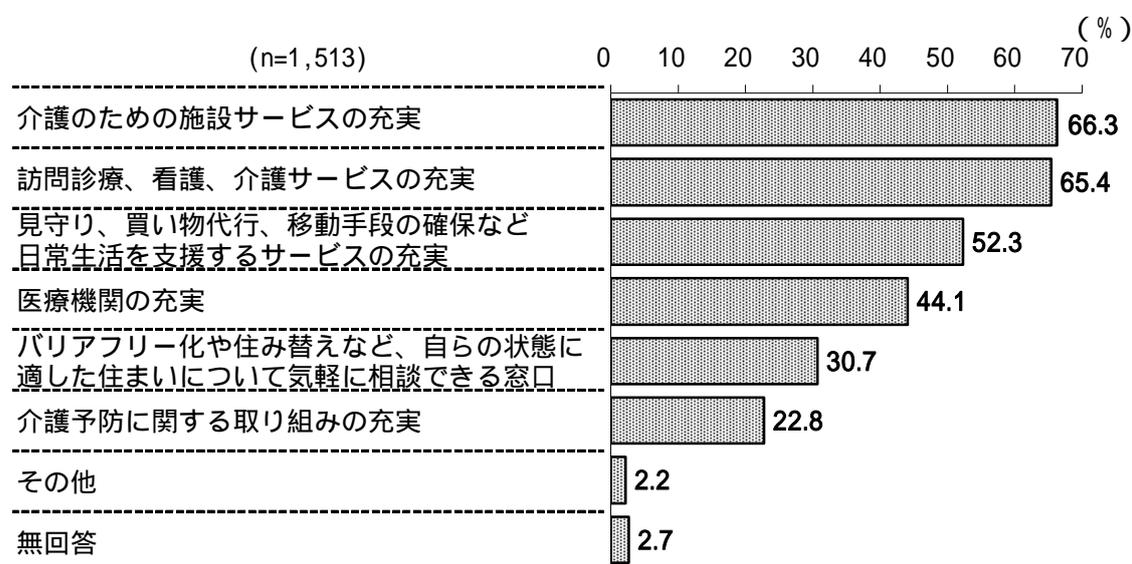
<図表 16 - 2 > 住み慣れた地域で暮らし続けたいか否か / 地域別、性・年代別



(2) 住み慣れた地域で暮らし続ける際に、必要なもの

問17 あなたが介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らし続けようとした場合、その地域に必要なものは何ですか。(はいくつでも)

< 図表 17 - 1 > 住み慣れた地域で暮らし続ける際に、必要なもの



自身が介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なものを聞いたところ、「介護のための施設サービスの充実」(66.3%)、「訪問診療、看護、介護サービスの充実」(65.4%)が共に6割台半ばで多く、次いで「見守り、買い物代行、移動手段の確保など日常生活を支援するサービスの充実」(52.3%)となっている。(図表17-1)

【地域別】

地域別に見てみると、「介護のための施設サービスの充実」は“海匠地域”(80.0%)が8割、次いで“長生地域”(75.7%)、“君津地域”(73.4%)が7割台半ばと他の地域に比べ多くなっている。

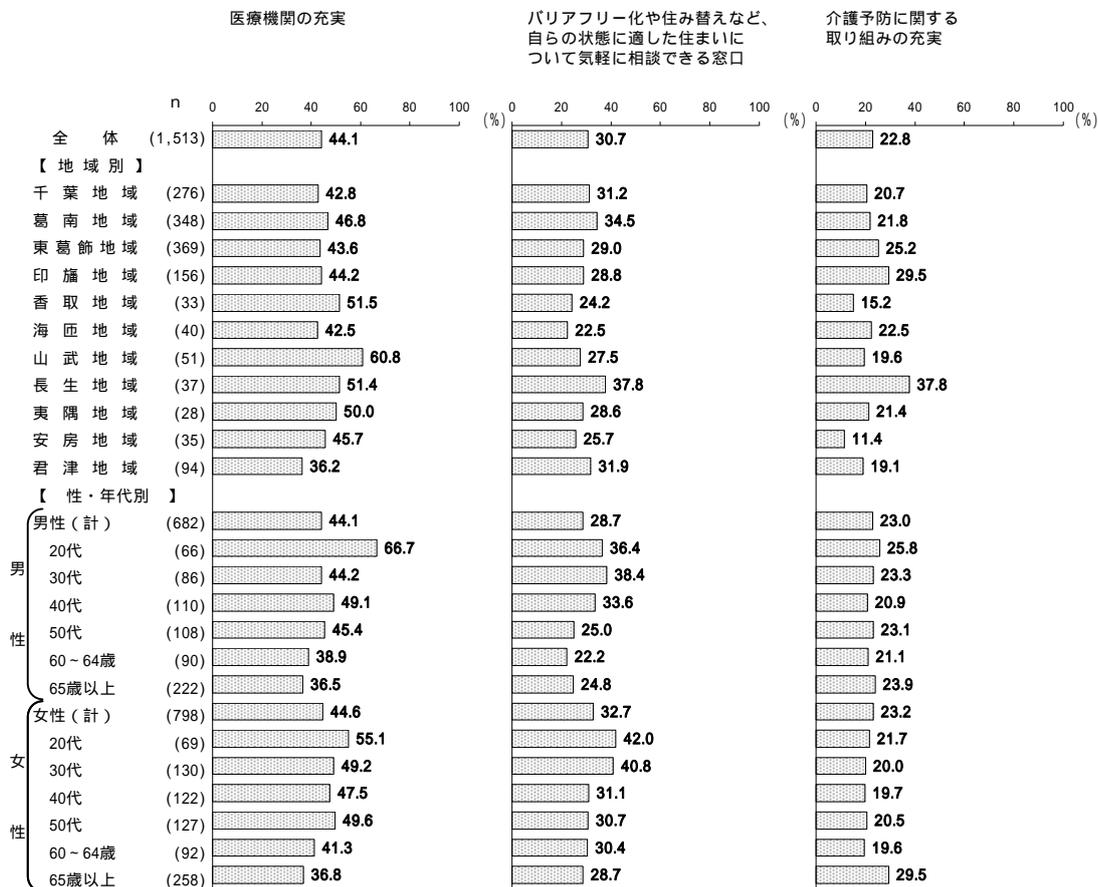
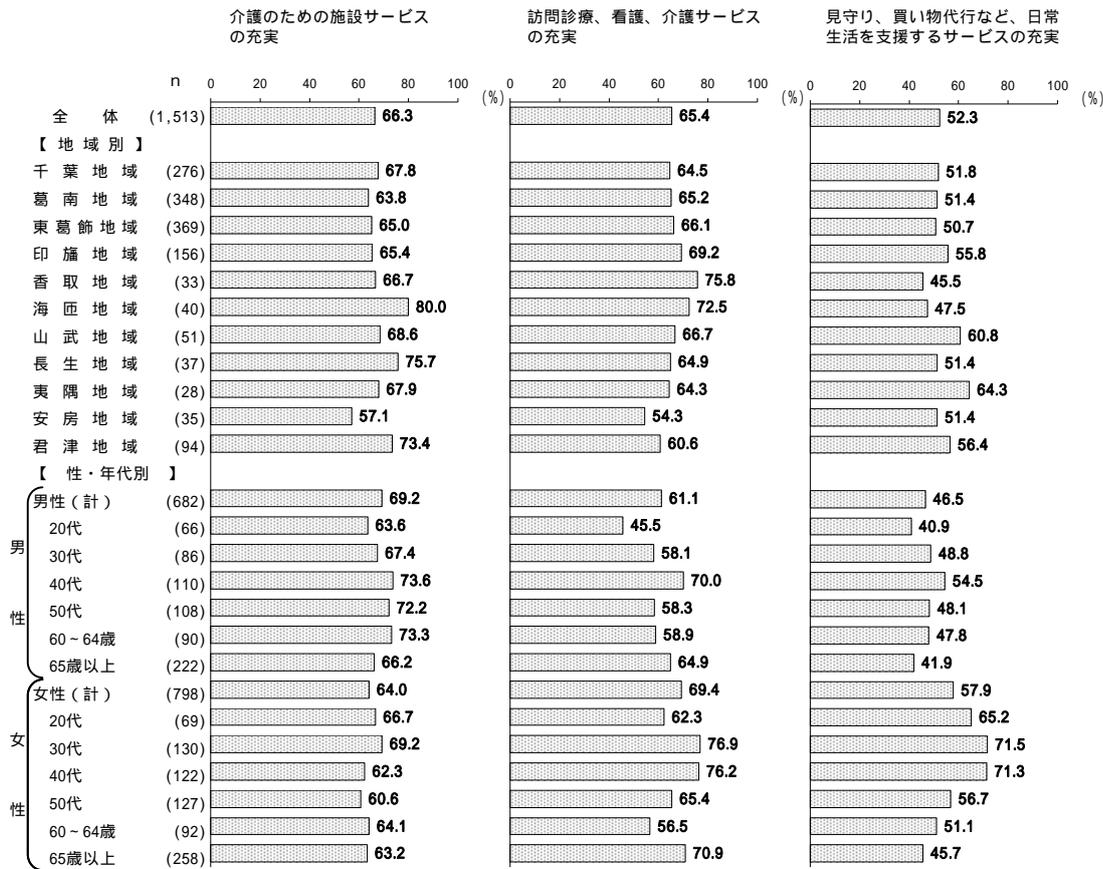
(図表17-2)

【性・年代別】

性・年代別に見てみると、「介護のための施設サービスの充実」は男性40代(73.6%)、50代(72.2%)、60~64歳(73.3%)で7割台と多くなっている。「見守り、買い物代行、移動手段の確保など日常生活を支援するサービスの充実」は、女性30代(71.5%)、40代(71.3%)で7割を超えている。

(図表17-2)

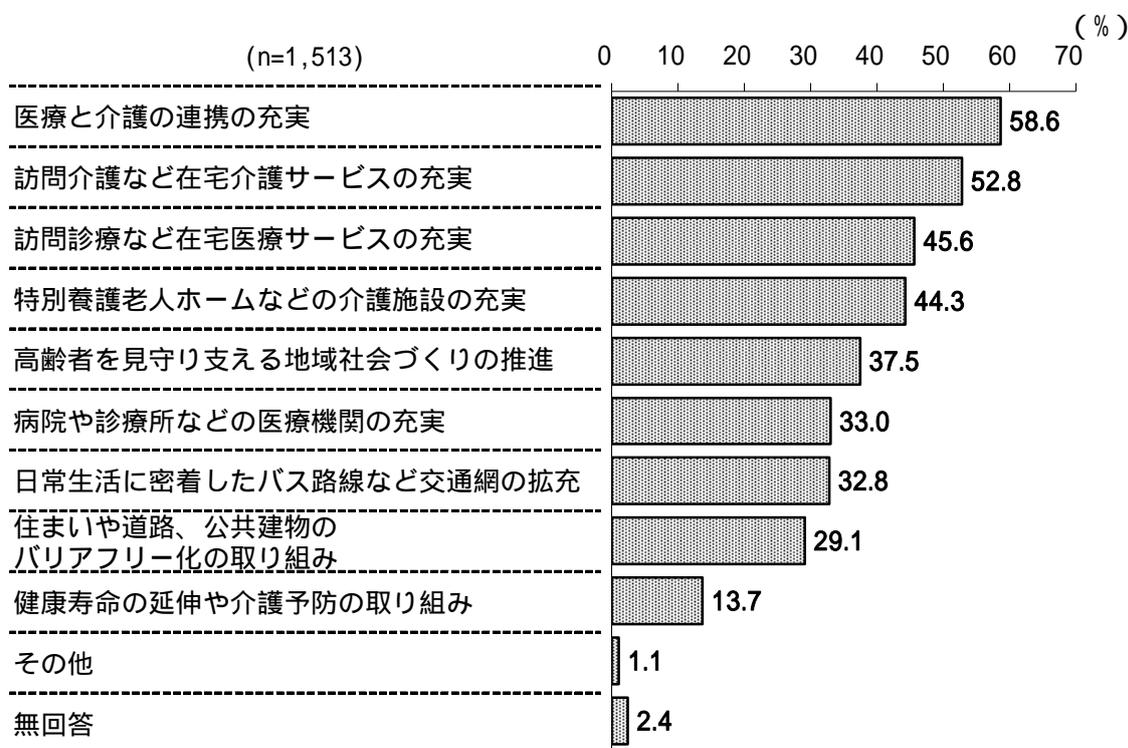
<図表 17 - 2 > 住み慣れた地域で暮らし続ける際に、必要なもの / 地域別、性・年代別



(3) 地域で暮らす高齢者を支えるために、県に求めること

問18 あなたが、地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、特に千葉県に求めることは何ですか。(はいいくつでも)

<図表 18 - 1> 高齢者の生活を支えるために、県に求めること



地域で暮らし続けることを希望する高齢者の生活を支えるために、県に求めることを聞いたところ、「医療と介護の連携の充実」(58.6%)が約6割と最も多く、次いで「訪問介護など在宅介護サービスの充実」(52.8%)、「訪問診療など在宅医療サービスの充実」(45.6%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設の充実」(44.3%)となっている。(図表18-1)

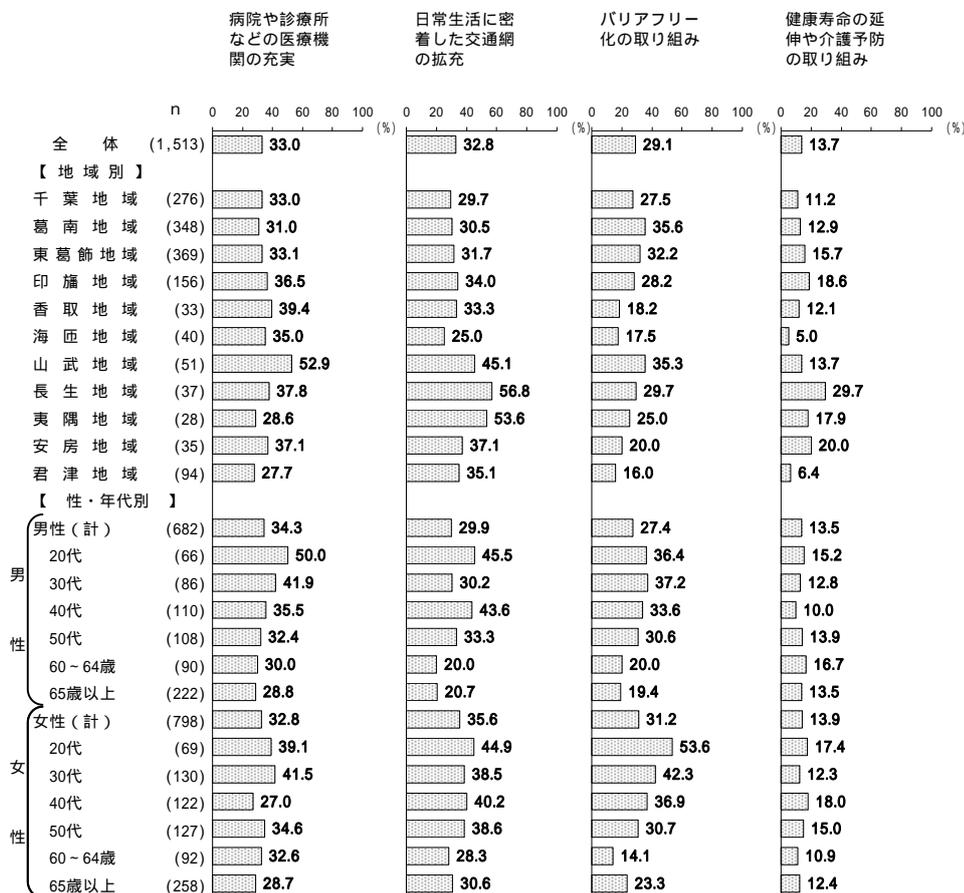
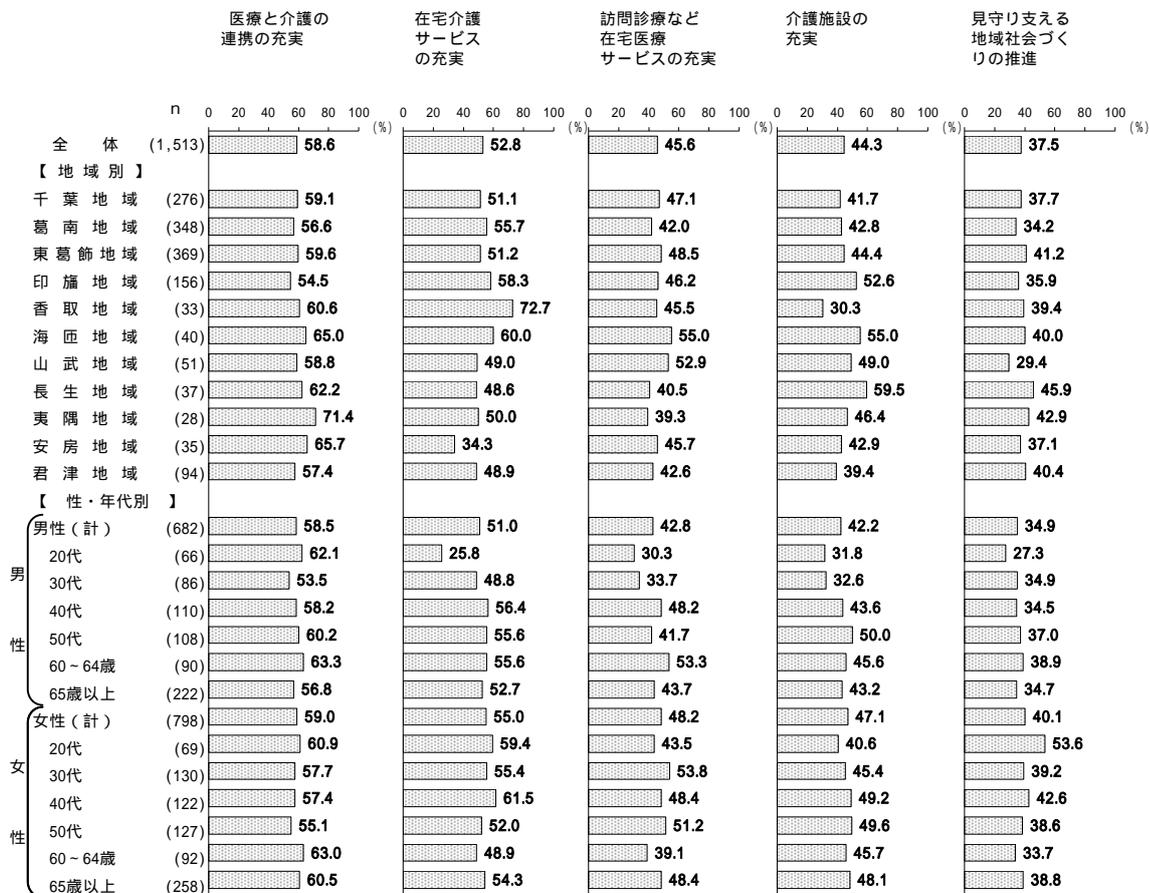
【地域別】

地域別にみても、「医療と介護の連携の充実」は“夷隅地域”(71.4%)が他の地域に比べ多く7割を超えている。「訪問介護など在宅介護サービスの充実」では、“香取地域”(72.7%)が7割を超えて多くなっている。(図表18-2)

【性・年代別】

性・年代別にみても、「医療と介護の連携の充実」は男女60～64歳(男性63.3%、女性63.0%)が6割台半ばと他の年代に比べて多くなっている。「訪問介護など在宅介護サービスの充実」は女性40代(61.5%)が6割を超えて他の年代に比べ多くなっている。(図表18-2)

<図表 18 - 2 > 高齢者の生活を支えるために、県に求めること / 地域別、性・年代別



このほかに、「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」やここまでの質問（問16～問18）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、172人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「高齢者が地域で暮らし続けるための施策について」の自由回答（抜粋）

24時間、個々に面倒をみてくれる介護施設。独居老人対策の1つとして、擬似家族の様なものを考えて頂けたらと思います。（男性・60～64歳・葛南地域）

一般の人達が、もっと気軽に使える運動施設があるといいなと思っています。寝たきりにならないような予防に力を入れた方が、介護のための施設を増やしていくよりは有意義な選択だと思います。（女性・40代・印旛地域）

介護する人のための、心身の健康をサポートする為の、サービス。悩み相談やリフレッシュの為の支援。（男性・50代・葛南地域）

介護保険の利用がしづらい。車椅子利用などレンタル、ベッドのレンタルなど。もっと利用できるように、今の判定基準をゆるめてほしい。大変な障害なのに、ちょっとした生活の内容を話しただけで判断され、ダメになる。（男性・40代・千葉地域）

介護の認定が甘いので（スーパーでの買い物やウォーキングの出来る人にも訪問介護をしているので、）認定をきびしくした方が良い。（女性・40代・千葉地域）

高齢者が買い物や食事に行けるように、送迎してほしい（交通の足になってくれると生活が楽しくなると思う）。（女性・60～64歳・夷隅地域）

高齢者専用の病院を作ってあげた方がいいと思う。小児科があるように、高齢者がもっと気軽にサービスを受けられる病院など。（男性・30代・千葉地域）

在宅介護を推進しても、やはり限度があって、誰かが仕事をやめなければならない。生活していけるのであればそれでもいいが、なかなか難しい。（女性・20代・葛南地域）

低所得者のための特別養護老人ホーム等、気軽に利用出来る介護施設を多く作ってほしい。現在の状況では少なすぎる。（男性・65歳以上・東葛飾地域）

費用の問題ありますが、地域で暮らしたいと皆望んでいます。なので、それに対してあらゆる施設を作っていただきたい。特に老人ホーム、グループホーム（認知、精神）、家族が見舞いに行けるように、近くにあると嬉しいと皆考えています。また、在宅で暮らしたいと皆思っています。なので、その支援を細やかに。（女性・65歳以上・葛南地域）

古い建物や団地などのバリアフリー化や、建て替えなどを補助してくれる制度があるのでしょうか？ その情報がどこに行けば受け取れるのか、わからない。（男性・50代・葛南地域）

リハビリの徹底、一人暮らしサポート。一日中誰とも口をきかなかつたなんてことがないように（生活状態把握、孤独死予防）訪問を。（女性・30代・葛南地域）